

## [地域連携推進機構]

[Organization for Promotion of Regional Collaboration]

### [地域医療・保健支援部門]

[Community Medicine & Health Support Division]

副機構長(前)	二階堂敏雄	Toshio Nikaido
部門長(併)	関根道和	Michikazu Sekine
副部門長(併)	立瀬剛志	Takashi Tatsuse
教授(併)	金森昌彦	Masahiko Kanamori
教授(併)	鈴木道雄	Michio Suzuki
教授(併)	竹内登美子	Tomiko Takeuchi
教授(併)	田村須賀子	Sugako Tamura
教授(併)	西谷美幸	Miyuki Nishitani
教授(併)	布村忠弘	Tadahiro Nunomura
教授(併)	安田智美	Tomomi Yasuda
教授(併)	八塚美樹	Miki Yatsuzuka
准教授(併)	桶本千史	Chifumi Okemoto
准教授(併)	高倉(須永)恭子	Kyoko Takakura (Sunaga)
助教(併)	山田正明	Masaaki Yamada
コーディネーター	藤森純子	Junko Fujimori

#### ◆ 研究概要

地域医療・保健支援部門は、地域連携推進機構の一部門として地域の各種社会資源と連携した、地域医療や地域保健に関する調査研究、人材育成、情報発信に関する事業を行っています。平成 27 年度は、事業の 3 本柱として①地域包括ケアシステム推進事業、②地域医療支援事業、③地域健康づくり支援事業を掲げ、地域等で様々な活動を展開しています。

#### ◆ 地域連携推進事業

- 1) 地域健康事業支援「ふなはしむら健康構想支援」. 舟橋村委託連携事業, 2014-15 年度.
- 2) 高齢社会生きがい支援事業「ケアウィル勉強会」運用, 2014-15 年度.
- 3) 高齢社会生きがい支援事業「ケアウィル研修会」運用, 2015 年度.
- 4) 地域メンタルヘルス対策支援事業「富山地域ストレス研究会」運用, 2014-15 年度.
- 5) 地域メンタルヘルス対策支援事業「コア・ゲートキーパー包括的支援プラットフォーム事業」, 2014-15 年度.
- 6) 藤森純子. 「富山県エイジレス社会活動推進協議会」委員 (学長代理), 2014-15 年度.
- 7) 立瀬剛志. 「富山市健康プラン 21」推進委員, 2015-16 年度.
- 8) 立瀬剛志, 須永恭子, 藤森純子, 宮地正典. 「地域包括支援センター等機能強化事業」アドバイザー, 2015 年度.
- 9) 田村須賀子, 西谷美幸, 比嘉勇人, 八塚美樹, 安田智美, 竹内登美子, 高倉恭子, 関根道和, 山田正明. 「地域ケア会議等」アドバイザー, 2015 年度.
- 10) 関根道和, 山田正明. 富山県庁厚生部医事課 (人事課兼務) 非常勤医師, 2015 年度.
- 11) 関根道和, 富山県認知症高齢者実態調査実施委員, 2014 年度.

#### ◆ 原 著

- 1) Liu J, Sekine M, Tatsuse T, Fujimura Y, Hamanishi S, Zheng X. Association among number, order and type of siblings and adolescent mental health at age 12. *Pediatr Int.* 2015 Oct;57(5):849-55.
- 2) 竹内登美子, 青木頼子, 牧野真弓, 新鞍真理子. 「もっと知りたい認知症～体験者の声から学ぶ」の概要と参加者の反響. 富山大学看護学会誌. 2015 ; 15 (1) : 43-51. (公開シンポジウム)
- 3) 須永 恭子, 西井 和実, 高橋 政子, 大江 浩. 訪問看護における退院カンファレンス前後の退院支援の実働と整合性に関する検討. 日本看護学会論文集 (在宅看護). 2015 ; 45 号 : 59-62.

## ◆ 学会報告

- 1) 立瀬剛志, 藤森純子, 本田徹, 永田勝太郎, 新鞍真理子, 鏡森定信, 関根道和, 長岡丈道. 退職期男性の支援ニーズと課題 - 「ケアウィル」プログラム参加者にみる実存的不安 -. 第 49 回富山県公衆衛生学会大会 ; 2015 Feb 10 ; 富山.
- 2) 立瀬剛志, 藤森純子, 本田徹, 永田勝太郎. 退職期の実存的課題を支援する地域教育プログラムの開発 - 「ケアウィル」実践研究報告 -. 第 34 回日本社会精神医学会総会 ; 2015 Mar 5-6 ; 富山.
- 3) 須永恭子, 立瀬剛志, 鈴木道雄, 小林俊哉, 塩谷亨, 瀧波賢治. 地域における自殺対策ネットワーク創生に向けたゲートキーパー育成支援事業. 第 34 回日本社会精神医学会総会 ; 2015 Mar 5-6 ; 富山.
- 4) 牧野真弓, 竹内登美子, 新鞍真理子, 青木頼子. 認知症高齢者の安全対策に対する熟練看護師の思考過程. 日本看護研究学会第 28 回近畿・北陸地方学会学術集会 ; 2015 Mar 7 ; 金沢.
- 5) 竹内登美子. 家族性難病と告げられ症状の進行を予測しながら生きる人の体験. 第 28 回日本看護福祉学会学術大会 第 28 回日本看護福祉学会学術大会抄録集, 2015 ; 53. 第 28 回日本看護福祉学会学術大会 ; 2015 Jul 4-5 ; 福岡.
- 6) 小林俊哉, 立瀬剛志, 須永恭子, 塩谷亨. 富山県内における地域近接型ゲートキーパー養成事業の課題と展望. 第 56 回日本社会医学会総会 ; 2015 Jul 25-26 ; 久留米.
- 7) 立瀬剛志, 須永恭子, 藤森純子, 小林俊哉, 山田広明. 異分野連携に基づく地域健康政策での健康影響評価の効果と課題 - 富山県「ふなはしむら健康構想」ワークショップより -. 第 56 回日本社会医学会総会 ; 2015 Jul 25-26 ; 久留米.
- 8) 藤森純子, 立瀬剛志, 中森義輝, 永田勝太郎, 本田徹, 鏡森定信. 退職後の暮らしを支える知識創造の場設定の課題 - ケアウィル実践研究より -. 第 56 回日本社会医学会総会 ; 2015 Jul 25-26 ; 久留米.
- 9) 須永恭子, 立瀬剛志, 藤森純子, 小林俊哉, 山田広明. 住みたくなる地域づくり戦略の検討 - 過疎地域の健康と互助からの考察 -. 第 56 回日本社会医学会総会 ; 2015 Jul 25-26 ; 久留米.
- 10) 八木信一, 松沢純子, 高木園美, 林佳奈子, 桶本千史. 富山市における小児医療的ケア・小児在宅医療ネットワーク準備の進捗状況について(第 2 報). 第 41 回日本重症心身障害学会学術集会 ; 2015 Sep 18-19 ; 東京.
- 11) 須永恭子, 西井和実. 訪問看護ステーションの運営に関する検討 - 管理者の悩みから把握した運営の課題 -. 第 46 回 日本看護学会 ; 2015 Oct 2-3 ; 名古屋.
- 12) 桶本千史, 林佳奈子, 高木園美, 松田瞳, 松沢純子, 八木信一. 県内の医療的ケアを要する小児とその家族を支える看護職者への教育支援の実践. 第 54 回富山県小児保健学会 ; 2015 Oct 4 ; 富山.
- 13) 高木園美, 桶本千史, 長谷川ともみ. 富山県の在宅重症心身障害児(者)の主介護者におけるレスパイトサービスに対するニーズ. 第 54 回富山県小児保健学会 ; 2015 Oct 4 ; 富山.

## ◆ その他

- 1) 関根道和, 山田正明. 「食生活の意識改善 - 高岡・二塚小で成果報告」北日本新聞 (朝刊). ; 2015 Feb ; 530 頁.
- 2) 関根道和, 山田正明. 「食生活の意識改善 - 高岡・二塚小で成果報告」ほっとホットメール高岡 (第 321 号) ; 2015 Feb 20
- 3) 立瀬剛志. キャリア教育における自己効力感. キャリア教育全体研修会 富山県立雄峰高等学校 ; 2015 Feb 19 ; 富山. (講演)
- 4) 竹内登美子. 「中高年から輝き続けるために」 富山県保健推進員連絡協議会北ブロック研修会. 富山市保健推進員連絡協議会. ; 2015 Feb 26 ; 富山. (講演)
- 5) 関根道和, 山田正明. 平成 26 年度文部科学省スーパー食育スクール事業・生活習慣と健康に関するアンケート調査報告書. 富山大学大学院医学薬学研究部疫学健康政策学講座. 富山.
- 6) 立瀬剛志, 藤森純子. 「退職期ケアウィルと地域健康政策」. 特別報道番組 R65 (富山テレビ) ; 2015 May 17.
- 7) 関根道和. 「全国 80 医学の教育アウトカムの決定要因 - 教育、研究、大学運営、社会貢献の最適化を目指して -」キックオフシンポジウム : 医薬学と数理学の融合を目指して ; 2015 May 18 ; 富山. (講演)
- 8) 藤森純子. 「地域の高齢化向き合う大学-地域づくりに専門性生かす」 読売新聞 (朝刊). 2015 May 21.
- 9) 立瀬剛志. 退職後の健康と豊かな暮らし. 永年勤続者を送る集い 富山県地方共済組合 ; 2015 Mar 31 ; 富山. (講演)
- 10) 関根道和. 「全国が注目! “子どもの肥満対策”」NHK ニュース おはよう日本 ; 2015 Apr 9. (情報提供) (<http://www.nhk.or.jp/ohayou/marugoto/2015/04/0409.html>)
- 11) 関根道和. 「子どものときの食習慣が健康をつくる : 野菜不足は生活習慣病の誘因」 (5 月号特集「野菜好きな子ども

もに育てる)。月刊「食べもの通信」(家庭影響研究会); 2015 5月号 8-9 頁. 東京.

- 12) 立瀬剛志. ケアを考える. 心とからだの回復実践; NPO 法人みどりの風市民講座; 2015 Jun 21; 富山. (講演)
- 13) 立瀬剛志. 見直そう! 睡眠の力. 青少年健康づくり支援事業 富山県中部構成センター; 2015 Jun 26; 上市. (講演)
- 14) 関根道和. 「睡眠と生活習慣病-寝ないと太る-」キメラ会学術研修会; 2015 Jun 28; 富山. (講演)
- 15) 関根道和. 「深刻な子どもの肥満 その対策は」NHK NEWS WEB (情報提供)  
([http://www3.nhk.or.jp/news/web\\_tokushu/2015\\_0417.html](http://www3.nhk.or.jp/news/web_tokushu/2015_0417.html))
- 16) 立瀬剛志. 「健康で生きがいのある暮らし」富山支部地区委員研修会 富山県年金受給者協会; 2015 Jul 1; 富山. (講演)
- 17) 竹内登美子. 「看護職のワーク・ライフ・バランスインデックス調査」データの見方とベンチマークの活用. 富山県看護協会看護研修センター; 2015 Aug 12; 富山. (公開講演)
- 18) 桶本千史, 高木園美, 林佳奈子. 平成 27 年度 富山県多職種連携 第 1 回小児医療的ケア実技研修会. 小児看護学講座, 地域医療・保健支援部門研修会; 2015 Aug 29; 富山.
- 19) 高倉(須永) 恭子. 在宅ケアシステム論. 平成 27 年度訪問看護師養成講習会. 富山県看護協会; 2015 Sep 2, 3, 9.
- 20) 立瀬剛志. 「住民信頼の向上と豊かな地域生活に向けたエイジレス推進事業」舟橋村エイジレス事業企画部会 (中間報告会); 2015 Sep 11; 舟橋. (講演)
- 21) 桶本千史, 高木園美, 林佳奈子. 「医療的ケアを要する子どもと家族の生活を支える看護~富山県内における小児看護職者のつながりを考える~」第 14 回高度専門看護教育講座研修会; 2015 Sep 12; 富山.
- 22) 竹内登美子, 新鞍真理子, 青木頼子, 牧野真弓. 「認知症を学ぶ-レビー小体型認知症とは」公開講演会の企画・運営; 2015 Sep 26; 富山.
- 23) 立瀬剛志. 「こころが通う対話の話」市民講座 北陸内観懇話会; 2015 Sep 27; 富山. (講演)
- 24) 立瀬剛志. 「レジリエント教育-キャリアワークを考える-」キャリア教育全体研修会 富山県立雄峰高等学校; 2015 Sep 30; 富山. (講演)
- 25) 竹内登美子. 「もっと知りたい認知症-予防・対応法・家族の思い」富山医療福祉専門学校; 2015 Oct 3; 富山. (公開講座).
- 26) 関根道和. 「格差社会と子供の生活習慣・教育機会・健康-社会経済格差と地域格差-」平成 27 年度愛知県学校保健会県立学校部養護教諭会第 2 回研究会; 2015 Oct 9; 愛知. (講演)
- 27) 立瀬剛志. 「自殺のリスクと日常の支援」ゲートキーパー講習会 (砺波地区教頭研修会) 県立砺波高校; 2015 Oct 19; 砺波. (講演)
- 28) 関根道和. 「親子保健・学校保健分野活動報告」公衆衛生モニタリングレポート委員会活動報告会. 第 74 回日本公衆衛生学会総会; 2015 Nov 6; 長崎.
- 29) 立瀬剛志. 『自分らしい生き方や生きがいを考える-向老期の豊かさと「ケアウィル」』暮らしの実学講座 富山市民大学; 2015 Nov 11; 富山. (講演)
- 30) 立瀬剛志. 「健康なコミュニティを考える」ゲートキーパー応用講習会 富山地域ストレス研究会; 2015 Nov 23; 富山. (講演)
- 31) 関根道和. 『高齢期の「あたま」と「からだ」の健康づくり: 第 1 回 生活習慣病予防』藤沢市生涯学習大学事業・藤沢市生涯学習人材バンク「湘南ふじさわ学びネット」市民講師企画講座第 6 弾; 2015 Dec 2; 神奈川. (講演)
- 32) 関根道和. 「地域包括ケアシステム推進のための将来予測・地域診断・人材育成-地域医療保健支援部門の取り組み」大学の知の活用による地方創成の可能性. 文部科学省『地(知)の拠点』. 富山大学 COC+キックオフシンポジウム. (富山大学地域連携推進機構・地域連携戦略室主催); 2015 Dec 4; 富山. (講演)
- 33) 関根道和. 『高齢期の「あたま」と「からだ」の健康づくり: 第 2 回 認知症予防』藤沢市生涯学習大学事業・藤沢市生涯学習人材バンク「湘南ふじさわ学びネット」市民講師企画講座第 6 弾; 2015 Dec 9; 神奈川. (講演)
- 34) 関根道和. 「医師のキャリアを考える~医学教育とその後の人生~」職業理解講座「エキスパートに学ぶ」. 富山県立砺波高等学校; 2015 Dec 10; 富山. (講演)
- 35) 関根道和. 「20 年後 認知症県民 1 割-富山大医学部教授が推計 保健医療のあり方検討を-」読売新聞 (朝刊). ; 2015 Dec 10; 28 頁.
- 36) 関根道和. 「社会人の講義 進路の参考に」富山新聞 (朝刊). ; 2015 Dec 11; 26 頁.
- 37) 金森昌彦. 第 41 回国際福祉機器展印象記. 東西医学教育研究の再考「からだ」と「こころ」. 2015 ; 3 : 48-49.
- 38) 須永恭子. 「サービス付き高齢者向け住宅における住まいと実態と機能に関する検討」平成 27 年度公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団研究助成.

- 39) 藤森純子, 立瀬剛志, 鏡森定信, 中森義輝, 山西潤一, 本田徹, 永田勝太郎, 坂東喜行. 「“人生 90 年時代” のライフサイクル再構築支援ガイドの作成」受託. 日本生命財団高齢社会実践的課題研究助成 (共に生きる地域コミュニティづくり) [2015-2017]. (研究助成受託)